

# しゃくなげ

学校の教育目標 志をもち 仲間とともに創りだす生徒



## ONE TEAM を目指して ～人権集会の取組より～ 校長 福井敏彦

7月に行った第1回人権集会では、統合した七宗中学校のよさと課題を交流し「ONE TEAM ～尊重・助け合い～」というスローガンを決めました。今回の人権集会では、スローガンに照らした現在の姿を振り返るとともに、さらに人権感覚を磨くために一人一人ができることを考えました。

### 「ぽかぽカード」の取組から

人権集会の前週には全校でよさ見つけの取組「人権キャンペーン」を実施しました。毎日カードに仲間のよさを書き、学級や全校で交流する取組です。

◆事実 ◇思ったこと・感じたこと

◆目を見てニコニコしながらプリントを配ってくれた。	◇私もニコニコになった。
◆配布物を配っていたら「手伝うよ」と助けてくれた。	◇仲間のことをよく見ていてすごい。
◆配布物を「ありがとう」と会釈をして受け取ってくれた。	◇自然と感謝の気持ちを表せることがすごい。
◆長距離走でペアの人に応援やタイムの声かけをしていた。	◇苦しいけれど、ペースがわかり励みになった。
◆朝、元気な声であいさつしてくれた。	◇私も元気のでるあいさつをしたい。

この取組のすばらしさは、相手を思いやった声かけや行動の事実だけでなく、思ったことや感じたことを見つめて書いていることにあります。その行為にどんな値打ちがあるのか考えることで、人に言われるのではなく自発的によさを真似したいという思いがもてています。自分では当たり前だと思ったことが相手にとってはうれしかったという気付きにもなりました。

### 「100%は難しいかもしれないけれど…」

人権集会では、取組後のスローガン達成度を数値化した平均が61%だったという結果を受け「今後100%にするためにどうしたらいいだろうか。」という話し合いになりました。

あるグループでは「100%を目指すなら、極論人と関わらないことだ。」という意見が出ました。素晴らしかったのは「確かに100%は難しいかもしれない…」とその意見を位置付けたこと。難しい課題に挑もうとしていることを共有し「だったら…」と考える頼もしい姿がみられました。「『ぽかぽカード』を継続したらどうだろう。」「よさを見つけたら真似るのもいい。」「100%に少しでも近づけるためには、課題を直すという考え方より、よさを伸ばす考え方がいいね。」と話し合いを深めていました。本気でよりよくしたいと願う思いを感じる話し合いでした。

### 思いを行動に表す

本気でよりよくしたいと願う思いは他のグループも同様。「できている人を少しずつ増やし、尊重しあう雰囲気をつくりたい。」「習慣づけが大切だ。」「感謝の言葉(ありがとう)をたくさん使おう。」「使うとよい言葉を明らかにしたい。」全校の姿がすぐに変わることは難しいかもしれないけれど、一人一人が少し意識することで、昨日より一歩前進したいという思いを感じました。

★今年もたくさんのご支援ありがとうございました。よいお年をお迎えください。